



■ 地区概要

戸建て住宅が多く、閑静な住宅地です。地区の北側を東急東横線が通っており、地区の西側に近接して白楽駅、東白楽駅があります。東神奈川駅・大口駅・神奈川新町駅にも徒歩圏内です。

地域内には公園も多くあり、白幡の森では地域の畑など自然と親しむことができる環境があります。夏祭りなど、町会ごとにイベントが盛んです。

地域内は起伏に富んだ地形で、移動販売や地域カフェなどの取組も行われています。

■ 人口・世帯数等の概況(令和7年3月現在)

	白幡地区	神奈川区
総人口	13,907人	246,217人
0～14歳	1,635人(11.8%)	25,804人(10.5%)
15～64歳	9,152人(65.8%)	166,678人(67.7%)
65歳以上	3,120人(22.4%)	53,735人(21.8%)

	白幡地区	神奈川区
総世帯数	7,481世帯	136,040世帯
平均世帯人員	1.86人	1.81人
65歳以上 ひとり暮らし世帯	1,032世帯 (13.8%)	19,239世帯 (14.1%)



神奈川区
白幡地区概況データ



レアリア かながわ支え愛プラン
(レアなエリアご近所情報サイト「レアリア」に地域活動などを発信中)



これまでの取組

第4期計画では、「町会の枠を超えた取組」を掲げ、「ときめき白幡」や「オーケストラがやってくる」など長年続いている取組に加えて、コロナ禍の中でも、ボッチャ大会や肝試し、地域カフェ等、工夫を重ねながら地区内の連携に向けた新たな取組を進めてきました。



ボッチャ大会



地域防災拠点夜間訓練

第4期計画の期間に
生まれた取組



きもだめし



地域カフェ

目標と取組

目標1 つながりあう地域づくり

【主な取組】

- 世代を超えて参加できるイベントの実施
- 子供たちの思い出づくり
- イベントを通じた地域の担い手の育成・発掘
- 町会や地域の情報発信

目標2 「安心」なまちづくり

【主な取組】

- 町会を越えた防災の連携
- イベントを通じた見守り
- あいさつを交わせるまち、顔の見える地域づくり
- 研修会や情報交換会等を通じた見守りの風土づくり



支えあい

世代交流や情報発信の機会をより大切に、これまで実施してきた取組も継続しながら、「つながり 安心 支えあい 白幡」を目指します。